

## セキュリティ物件受注のカギは 予知防犯と防犯診断書

株式会社 WINディフェンス  
代表取締役  
防犯設備士 04-9617号

大内 英治



この度は、協会会報紙「防犯設備」に寄稿させていただく機会を頂きまして誠に有難うございます。

私は福岡県福岡市に於いて平成19年7月より小規模ながらセキュリティプロショップ(株)WINディフェンスを起業し地元密着の防犯を中心とした営業展開を行っております。起業する前は、住宅サッシを中心とする建材総合メーカーに勤めておりその時の最終部署での担当がセキュリティ推進部という関係上、退職後セキュリティ業界に入ってまいりました。

在職当時は協会関係各位、警察庁、警視庁関係各位皆様等、大変にお世話になりました。前職退職後、地元福岡に戻り現在の会社を興したのですが、長年建築業界に携わった関係上、お客様も建材店様・工務店様等が必然的に多く、直接エンドユーザー様からの防犯に関する問い合わせ、引き合い等はあまり多くありませんが、弊社のコンセプトで「住宅の安心・安全は防犯環境設計あり」という考え方を住宅を提供される、ハウスメーカー様、地場ビルダー様を中心に広く流布していく活動をさせて頂いております。

当然、マンション、アパート等の集合住宅、また、戸建住宅等新築、既築問わず多種多様な住宅の建築に携わるビルダー様、住宅販売会社様が防犯のコンセプトを理解して頂けるだけで、かなり強固な「安心・安全の家づくり」が出来るのですが、予算の関係上等、なかなかそこまで各社様、手が回っていないのが実情ではないでしょうか？

防犯の問い合わせ等が来るのは、実際に被害に遭われたユーザー様がビルダー様等に相談されて私どもに引き合いが来るのがほとんどで、事後処理対応が多い中、新築、リフォームに限らず、「予知防犯と防犯環境設計」の融合という考え方を建設会社様に理解して頂くため、住宅メーカー様、建材店様と

協働して建設会社様向けの防犯セミナーを会社設立以来、地道に行ってきた結果、福岡県内において現在48社のビルダー様が防犯環境設計をご理解頂き、自社の設計提案基準に防犯も取り入れて頂けるようになりました。

私なりに思うことは、当然、弊社は防犯専門の会社で防犯商材の販売や施工が中心ですが、次工程の建材店様、ビルダー様等は防犯が主力ではありません。当然住宅販売や、リフォーム受注に目が捕らわれがちですが、防犯セミナー等では防犯商材の提案等は極力抑えて「住宅の防犯対策とは、なんぞや？」という観点を中心に内容進行した結果、防犯の重要性を各社様が認知され、必然的に防犯商材販売につながってきているのが現状です。非常に遠廻りのように感じますが重要なポイントだと考えております。



工務店様向け防犯セミナー



ハウスメーカー向け防犯セミナー

昨年より、弊社が所属しておりますNPO福岡防犯設備士協会（福防設）におきまして福岡県警察の後援を頂き「セキュリティアパート認定制度」がスタートいたしました。私も微力ながら福岡県警察生活安全部及び福防設より防犯設備アドバイザーの委嘱をたまわり現在セキュリティアパート認定委員として認定申請の現場を数ヶ所審査、認定作業を行いました。マンション、アパートのオーナー様の自信に満ちた顔を拝見すると喜びに堪えません。

願わくは、この制度が早く県内の住宅会社様等に認知されるよう、住宅関連業界出身である私がハード面とソフト面の両面で活動を強化してまいる所存です。とは言え、防犯は住宅侵入盗だけでなく、犯罪は刑法犯だけでも多岐にわたります。そんな中で、弊社が所在します福岡市に於いては、昨年新幹線の九州全線開通に伴い新博多駅ビルのオープン、市中心部の大型複合施設のオープン等、他地域よりも活況に沸いている昨今、福岡市近郊に於いても後に続け、とばかりに近郊型大型商業複合施設、高層マンション、大型介護施設等、建設ラッシュに沸いている中、特に目を引くのが箱物建設現場の資材盗難が多発しております。大型プロジェクト建設現場ではすでに警備会社のセキュリティシステム導入等により対応されておりますが、単独箱物現場の多くは昼間の警備会社の人的セキュリティ（ガードマン等）が主力で夜間対応のセキュリティの不備が多く見受けられる中、多くの現場で、仮設電線・銅線等の盗難が多発しております。被害に遭われた現場は警察の指導もあり夜間警備システムの強化等を事後で図られているようですが、実害として、電線等の切断盗難の金額的被害よりも復旧金額の損害のほうが多いようです、また、完工引き渡し直前の被害となりますと被害は甚大のようです。

弊社におきましては、建設関係にクライアント様が多い関係上、このような現場からの依頼が多くなってまいりましたが、まずどの現場においても事件発生後の防犯に関しては建設予算の関係上、多額の費用をかけたシステム導入に二の足を踏んでおられるようです。しかし最低でも防犯カメラの設置、通報システムの設置等はやはり望まれます。このよう

な希望にお応えすべく弊社は「防犯設備士」の立場で防犯診断書を作成して現場事務所等へご提案しております。特に重要な事は、被害者の立場の目線ではなく、犯罪企画者の目線で防犯診断書を作成していくことだと考えております。

ターゲット先の検証も重要ですが、立地環境、周辺市町村環境、立地場所の所轄警察署管轄範囲状況等、多方面から犯罪企画者の立場で検証しながら防犯診断書を作成することにより最低限必要な防犯商材をピックアップして御提案いたしております。

その中で特に弊社が力を入れているのが、建築現場において後付けの防犯アナログカメラとNVRの設置とセンサー等の設置ではなくモバイルIPカメラの導入を推奨して好評を得ております。IPカメラであればインターネットにより離れた場所からでも遠隔監視ができ、録画機も現場事務所設置でなく遠隔録画が可能でどちらも本社や支店等からも視聴・操作が出来るというメリットがあります。またモバイルIPカメラならではの利点として夜間は防犯カメラとして・昼間は建設現場の進捗管理として簡単に移動設置、即起動、パソコンだけでなくスマートフォン、携帯電話、タブレット端末等からもアクセスできるということで、防犯プラス業務効率向上と両面で活用できることで、現場管理で重要な費用対効果が得られるという理由等から本年度急激に需要が増えてまいりました。

このような活動を続けていく中で弊社所在の福岡県と福岡県警察生活安全部総務課様、NPO福岡防犯設備士協会様で今後進捗していく「セキュリティアパート認定制度」に続き「福岡県セキュリティホーム認定制度」につきましても住宅関連業界出身を強みに各認定制度の普及に尽力をつくしてまいりたいと考えております。

末筆となってしまいましたが、拙い私、及び弊社の活動はまだ未熟なものだと恐縮致しております。関連業界の皆様方におかれましてはこれからも変わらぬご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げますとともに、公益法人日本防犯設備協会様、各地域防犯設備士協会御一同様、関係各位皆様のこれからの活躍とご発展を心よりお祈り申し上げます。